

令和5年度第1回太白区区民協働まちづくり事業評価委員会 議事録

- 日 時：令和5年6月11日（日）午前9時30分～午前11時10分
- 場 所：太白区役所4階第1・2会議室
- 出席委員：岩間友希委員長、菅原玲副委員長、石内鉄平委員、鎌田隼委員、佐々孝委員
佐藤真美子委員
- 事務局：利まちづくり推進部長、片桐まちづくり推進課長、佐藤地域活動係長、
竹内地域活動係主事、岩城地域活動係主事、細谷地域活動係主事

○会議内容

1 開会

2 議事【非公開】

委員長及び副委員長の選任を行い、委員長に岩間委員、副委員長に菅原委員を選出した。
議事録署名委員に菅原委員を指名した。

- (1) 評価方法について説明
- (2) 企画事業の概要説明

3 令和4年度企画事業実績報告会【公開】

「秋保ミュージアム環境整備支援事業」の実績報告及び質疑応答 実績報告：

①資源活用人材育成支援

「いってみっぺ秋保」を新規5コース発刊し、4コース増刷する等、秋保での滞在型観光、
交流活動の増進に貢献し、需要を伸ばした。

②地域資源環境整備支援

森峯山環境整備、鷹ノ巣散策路環境整備、板風道整備作業、楯山駐車場環境整備等の整備に
要する資材等の提供をした。

③地域活動のつどいの実施

令和5年1月28日に開催し、117名が参加した。

質疑応答：

[委員]

- ①実績概要報告書の「7. 事業を行ってみたいの問題点・課題等 ①資源活用人材育成支援 メンバ
ーの多忙による会議等参加者の確保が困難になっていることや組織体制の強化など課題があ
り、解決に至っていない。」とあるが、何か改善策等考えていることを具体的にお伺いしたい。
- ②収支決算書について、印刷費が大半を占めているが印刷費を削減して、活動費用を捻出する
等、考えていることを具体的にお伺いしたい。

[報告者]

- ①地域以外の方をサポートとして登用することを考えている。
- ②いってみっぺ秋保では、62コースを目標に年間5コースずつ制作することと、増刷分も含め
て予算組みをしているが、今後も継続していくかについては委員会の中で話し合われている。

[委員]

- ①いってみっぺ秋保においては、紙ベースのみならず、データベースでも残す等、検討してみ
ると良い。
- ②地域資源環境整備について、地域活動団体や町内会等、全体で取り組んでいることは素晴ら
しい。その中に、学校関係者が参加できる仕掛け等はあるか聞きたい。

[報告者]

- ①パンフレットについては、仙台市のホームページに掲載している。さらに周知できるように努めていく。
- ②「さかいの地区創生会」という団体が、秋保小学校や秋保中学校の生徒に対し、活動を提供している。現在、環境整備事業は主に境野地区と野尻地区の団体が活動しているので、そういった団体を新たに育成していくことが今後の課題であると考えている。

[委員]

人材の確保について、大学生や高校生は地域でボランティア活動意欲があるので、フェイスブックやホームページでの、問い合わせ件数を調査していくと良いと感じた。

[報告者]

大学との連携についても、いくつかお声がけいただいているので、そういった意見も参考にさせていただきたいと思う。また、フェイスブックやホームページでのアクセスの解析等について、地域活動団体でもなかなか注力できていない部分でもあると思うので、支援していきたいと思う。

「まつりだ秋保2022」の実績報告及び質疑応答

実績報告：

来場者数 : 約 1,750 人 (令和元年度 : 約 2,700 人)
出店・出展数 : 22 団体 (令和元年度 : 32 団体)
出演団体数 : 4 団体 88 名 (令和元年度 : 5 団体 140 名)
協賛団体数 : 32 団体 協賛金総額 305,000 円
(令和元年度 52 団体 協賛金総額 413,000 円)
従事者数 : 61 名 (令和元年度 : 89 名)

まつりの開催規模を縮小したが、地域の事業者や地域活動団体等が出店・出展し、会場を訪れた秋保地区内外の方々との交流を図りながら秋保地区を PR することができた。

また、みやぎ仙台商工会秋保支部の商工祭と同時開催とし、従前のようなまつりの賑わいを演出することができ、地域の活性化と地域内住民の交流を図ることができた。

質疑応答：

[委員]

来場者数の見込みを教えてください。

[報告者]

約 2,000 人を見込んでいた。

[委員]

まつりの活性化を目指すのであれば、来場者数の精査をしていくと良い。

[報告者]

今年度の開催に向け、精査していく。

[委員]

コロナ禍が明け、イベントを再開させる際に、来場者数の「見込み」といった言い方ではなく、「目標」と言い換えたり、出店者数が多い方が良いといった具体的な目標を共有すると良い。

[委員]

地域の人々は大変待ち望んでいたと思う。ぜひ地元の交流の場として、続けていってほしいと思う。

[委員]

秋保地区には、昔から続いている祭りや、町内会の祭り等は、まだ、あるのか。

[報告者]

各地区の祭りは未だに続いている。

[委員]

祭りの運営はとても大変だと実感している。私が携わっている六郷市民まつりという町内会連合会が主体となっている祭りがあるが、実態は市民センターが運営している。しかし、各町内会の祭りにおいては、各々が運営できている。そういった各町内会で運営できている能力を、ここでいう、まつりだ秋保の運営に少しでも巻き込むことができれば、地域住民主体となった祭りにできると感じる。

[報告者]

実行委員会としても、新たに秋保地区に移住してきた方を巻き込む動きはある。

[委員]

昔ならではの遊び等を体験できるスペース等を作り、現代の子ども達の記憶に残るような体験を提供できたら良いと思う。

「秋保地区スポーツレクリエーション大会」の実績報告及び質疑応答

実績報告：

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

目的としては、誰でも気軽に参加できるニュースポーツを中心とした大会を実施することにより、冬期間の運動不足の解消や運動への動機付け、地域の幅広い年齢層の交流やコミュニティづくり、融和を図ることである。

質疑応答：

[委員]

子どもたちの為に、ぜひ継続してほしい。種目を厳選したり、規模を縮小して開催する等、検討していきながら、継続して行っていただきたい。

[報告者]

現在、ボッチャ等の、幅広い年代が怪我の心配無く参加できるスポーツを実施する話が実行委員会を出ているので、いただいた意見を参考に引き続き、検討していきたい。

「太白区民まつり」の実績報告及び質疑応答

実績報告：

令和4年10月16日(日)に杜の広場公園及びその周辺会場で「みんなでつくる・好きなまち・たいはく」をテーマに各団体からのボランティアの協力のもと開催し、16,959人の来場者を得た。

新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、ステージ発表17団体、テント村出店39団体、ミニ機関車の運行(参加人数約2,000人)等、開催規模を一定程度縮小しながらも総合的な区民参加・交流型のまつりとしての役割を果たした。

コロナ禍でのイベント企画に精通した民間事業者へ、区民まつり企画運営を委託する開催方法を取り、コロナ対策の徹底やマンパワー不足の解消、業務の効率化(530時間の業務縮減)などの効果を得られた。

質疑応答：

[委員]

アイデア会議や業者に委託している点については良いと思う。他の区と同時開催だが、情報交換等の横の連携はあるか。

[報告者]

例年1月に全区の地域活動係が集まり、情報交換会が開かれている。また、開催に向け、各担当が他の区の担当と情報を共有する等、連携をとっている。

[委員]

委託事業者を交えた振り返りをすると良いと思う。また、印刷経費が縮減されていたことは良いと思った。他には、地域の大学や学校と連携し、SDGs のブースがあったら良いなと感じた。

[委員]

事業費以外の部分が下がっていたので、業者に委託したことで効率化できたと感じる。文化を市民に広げられる場だと思うので、貴重な機会だと思う。

[委員]

アイデア会議の募集の要件について教えてほしい。

[報告者]

特に要件はなく、昨年度は区内の大学・高校へ募集チラシを送り、参加者を募った。

[委員]

運営を業者に委託することは良いと思う。委託業者には理念をしっかりと伝え、運営していただきたい。この動きは、他の区でも同様か。

[報告者]

青葉区が太白区と同じような形態をとっている。

「太白区まち物語」の実績報告及び質疑応答

実績報告：

助成団体は1団体のみであったが、例年、区内市民センターやコミュニティセンターへの配架を依頼していた募集チラシを、昨年度に引き続き各单位町内会長へも送付したことで、小冊子やマップのみならず、冊子に関する問い合わせも増え、まち物語の制作についても潜在的なニーズがあると感じた。

質疑応答：

[委員]

冊子を作成して終わりではなく、制作した後の活用方法をぜひ検討してほしい。区民まつりで、太白区まち物語を周知するようなブースを設けることや、冊子を活用した講演会等の情報は更に拡げていくべき。また、区の予算もあるので、募集に留まるのではなく、こちらから働きかけていくことも検討してほしい。

[報告者]

制作委員会が管理運営委員会に変わり、冊子を活用し活動している等、団体としての動きはあるが、地域に働きかける等、事務局からのアプローチもしていきたいと思う。

[委員]

冊子で制作するとともに、PDF 化し、アーカイブに残し、手に取りやすくしていくと良いと思う。

[委員]

平成15年ころに、各市民センターで各地域の町おこしに取り組み、冊子にした経緯があり、およそ150ページがPDF化され、アーカイブに残っている実績がある。ぜひ後世に残すためにも、ぜひアーカイブ化を検討していただきたい。

[報告者]

各制作委員会と検討していきたい。

[委員]

募集要件に必ず若者を入れる等、アーカイブ化や若い世代にも読みやすい内容になれば、今後につながっていくと思う。